

○潮来市地域福祉計画・地域福祉活動計画（第2期）《素案》に対するご意見と市の考え方

No	項目	意見の内容（要旨）	市の考え方
1	これまでの主な取り組みと評価	潮来市地域福祉計画・地域福祉活動計画（第1期）に対し、どんな効果があったのか、どう変化があったのかが知りたいと思いました。	計画書の23ページから27ページで、これまでの主な取り組みと評価として記載させて頂きました。
2	基本理念	<p>問題の提示と現状・取り組み、といった事はたくさん書いてあるのですが、それにより見込まれる効果や未来像・期待すること等が見当たらずイメージしづらいのがもったいなと思いました。</p> <p>「潮来の福祉に学べ」「潮来といえば、あやめと福祉」となるような福祉先進都市を目指すのは素敵な取組みだと思いました。</p> <p>ただ、潮来の福祉に学べ、と潮来が言われるようになった時、潮来の市民はどうなっているのか、笑っているのか・泣いているのか・生き生きしているのか・次の世代は育てているのか・・・等々、未来の潮来の姿をどのように考え、期待しているのかが具体的に知りたいなあと思いました。</p>	<p>ご指摘のことについては、計画書の33ページから34ページで基本理念と将来像を記載させて頂いております。</p> <p>将来のイメージについては一言でいえば、35ページにありますように「必要な人に必要なサービスが必要な時に提供できる」まちというイメージです。</p> <p>そのために、「がまんをさせない」「手遅れにさせない」「あきらめさせない」福祉環境を整えていこうという趣旨の計画となっています。</p> <p>だれもが安心して住み続けられるまちづくりを推進してまいります。</p>
3	基本目標	<p>新規立ち上げ案について異論はなく、賛同致します。</p> <p>（仮称）福祉政策審議会委員及び（仮称）地域福祉推進員については、新規人材を発掘することよりも今、活躍されている民生委員児童委員などの方々から選任してはどうでしょうか。</p>	（仮称）福祉政策審議会委員、（仮称）地域福祉推進員の選任については、いろいろなご意見を勘案しながら人選を進めてまいります。
4	「あやめ」からのコメントについて	コメントが、ただの題名の繰り返しになってしまっているのが気になりました。かみ砕いた補足に使ったり、それを行うことでどんな未来を期待しているかがイメージしやすくなること、あやめからのコメントが引き立つなと思いました。	<p>ご意見を頂き、あやめからのコメントを次のように修正させて頂きました。</p> <p>○計画書の43ページ 「福祉が必要な人を見逃さない地域づくりをすすめていきましょう」 →「福祉って「我が事」なのね！「他人事」ではないのよ！」</p> <p>○計画書の48ページ 「課題を解決できる地域づくりをすすめていきましょう！」 →「恥ずかしがらずに気軽に相談して！きつと笑顔になるよ！」</p> <p>○計画書の54ページ 「サービスの切れ目と隙間のない地域づくりをすすめていきましょう！」 →「家族の困りごとを「丸ごと」解決しちゃいます！」</p> <p>○計画書の62ページ 「生活の質の向上を目指す地域づくりをすすめていきましょう！」 「あなたらしく、私らしく、いきいきと暮らしましょう！！」</p>

5	<p>《基本目標2》 課題を解決できる地域づくり</p>	<p>企画して、出来た事、継続中であること、計画はしたが出来なかったこと等が、明確に記されており、又、福祉事業に社会福祉協議会が、行政・市民（広域）間の太いパイプ役を担う重要性が、しっかりと記されており、とても分かりやすかった。道は、険しく大変と思いますが、皆さんで改革をしていくという意識が大事と考えます。</p>	<p>ありがとうございます。計画の推進に取り組んでまいります。</p>
6	<p>《基本目標3》 サービスの切れ目と隙間のない地域づくり （1）高齢者福祉・介護保険事業の充実、 （2）障がい者（児）福祉の充実、 （3）児童福祉・子育て支援の充実</p>	<p>本市では、今現在、NPO法人がどのくらい活動しているかわかりませんが、あまり話に聞いておりませんので今後は導入を模索して福祉事業の一環に導入して運営することも一つの方策として有益と思われるので、市で、一考頂ければ幸いです。</p>	<p>現在、潮来市内にある福祉関係のNPO法人は、次の4法人です。①NPO法人ピコット、②NPO法人ふれあい潮来、③NPO法人れいめい、④NPO法人わくわくネット65。①～③のNPO法人は、障がい者（児）へのサービス、活動を行い、④のNPO法人は子育て支援活動を行っています。 今後、NPO法人と連携して福祉事業に取り組んでまいります。</p>
7	<p>《基本目標3》 サービスの切れ目と隙間のない地域づくり、 （3）児童福祉・子育て支援の充実</p>	<p>潮来市で行っている児童福祉・子育て支援に対して、支援の在り方と利用の仕方、ケースと解決方法（相談方法）、などの発信方法を見直し、市民が利用できるよう正しく知ること、また、施設（街）にお世話になったママや子供たちが次の世代のママや子供たちを支え、その子供たちがまた親になり施設（街）を利用する。そんな未来へ続くはぐくみの輪が、この計画で実現できたらいいなあと期待しています。</p>	<p>ご指摘のように、利用者の皆様には多様な特性があることを踏まえ、ニーズを把握し、適切に対応することは重要な視点であると理解しています。 時代の変化に対応したサービス提供のあり方を検討するとともに、次の世代につながっていくような地域づくりに取り組んでまいります。</p>
8	<p>《基本目標3》 サービスの切れ目と隙間のない地域づくり、 （3）児童福祉・子育て支援の充実</p>	<p>「自助」市民等の役割について 子育て広場に交流を深める、保健センターに相談する等は大切なことだと思いますが、子育てに困難を抱えた人が読むと交流できないことや相談に行けないことが悪いように自分を責めてしまうのではないかと感じました。子育て広場については、子ども同士のおもちゃの取り合いなどで、謝ることが多いことがストレスで足が遠のいたという方が身近に数名いたので、足が向かないこと＝努力が足りないという風にならないように配慮していただきたいと思いました。 行政サービスを利用することだけではなく、自分の子どもや地域の子どもの様子に目を配る、あいさつなどコミュニケーションを図るなど普段から簡単にできることを加えてもよいのではないかと思います。</p>	<p>ご指摘のように、利用者の皆様には多様な特性があることを踏まえ、ニーズを把握し、適切に対応することは重要な視点であると理解しています。 計画書の53ページでの「自助」市民等の役割の二つ目の○「子どもの居場所づくり事業や子育て広場などに参加して、親子の交流を深めましょう。」を「子どもの居場所づくり事業や子育て広場などに参加するなどして、親子の交流を深めましょう。」と修正させて頂きました。 計画書の53ページで、「自助」市民等の役割に次のことを追加させて頂きました。 ○近所の子どもとあいさつを交わしたり、日ごろからの子どもの行動や様子に目を配りましょう。</p>

9	<p>《基本目標3》 サービスの切れ目と隙間のない地域づくり、 (3) 児童福祉・子育て支援の充実</p>	<p>「共助」地域等の役割について 低所得世帯児童・生徒への学習支援は、低所得世帯に利用者を限定すると利用しにくい仕組みになるのではないかと感じます。子どもたちも、低所得世帯とみられることに抵抗がある子もいるのではないのでしょうか。低所得世帯に限らず「潮来のこども」全員にむけた取り組みだと思いいなあと思いました。</p>	<p>負の連鎖を断ち切るためにも本事業は必要であると考えておりました、計画書での文言の修正は行いませんが、事業実施においては、ご指摘の点について、配慮して事業を行っていきます。</p>
10	<p>《基本目標3》 サービスの切れ目と隙間のない地域づくり、 (3) 児童福祉・子育て支援の充実</p>	<p>「公助」行政等の役割について。 子育て支援センターなどの拠点施設をつくることは、子育て支援の充実につながると思うので、大賛成です。せつかなので、現在のサービスを一か所にまとめるだけではなく、新たに潮来独自のカラーが出せたらいいなあと思いました。また「困る」前から足を運べるような施設なら、困ったときにすぐに SOS を出しやすいと思います。</p>	<p>ご指摘のような「困る前からの相談」については重要な視点であると理解しております。ご指摘のように潮来市の特性や資源を活用したサービス提供に努めてまいります。</p>
11	<p>《基本目標3》 サービスの切れ目と隙間のない地域づくり、 (3) 児童福祉・子育て支援の充実</p>	<p>運営に当事者（パパママ）も関われば、サービスを受けるだけの利用者から、ボランティアや福祉の人材育成にもつながるのではないのでしょうか。潮来は小さな自治体なので、子育て支援を全部行政でやるのではなく、当事者を巻き込みながらやれば、親子にとっても「街の事」が身近な「我が事」になれるのではないかと思います。</p>	<p>ご指摘のように、パパやママなどの当事者による運営や多くのボランティアが参画については、重要な視点であると理解しています。パパやママをはじめとした多くの市民が運営に参画できるような方法等を検討してまいります。</p>
12	<p>《基本目標4》 生活の質の向上を目指す地域づくり (4) 福祉のまちづくりの充実</p>	<p>神宮・あやめライン、鹿嶋小山記念病院チェリオ方面へ行くバス、また、行方方面等のバスについては、大山—ヘルスランドさくら方面行きのバスと神宮・あやめラインバスと乗り換え時間が合わないとの声もきかれています。</p>	<p>乗り換えの時間が合わないのご意見は、地域公共交通を担当している、秘書政策課にお伝えさせて頂きました。神宮あやめライン等の一層のご利用をよろしくお願いいたします。</p>
13	<p>計画を着実に推進する体制の確立</p>	<p>計画内容を理解している策定委員を「(仮称)福祉政策審議会」委員としてはどうか。</p>	<p>委員の人選については、策定委員の皆さんを含め、広く検討してまいります。</p>
14	<p>計画の評価・点検</p>	<p>平成30年度より毎年度、評価点検します、としてはどうか。</p>	<p>本計画の始期は平成30年度で、計画書に「毎年度、評価・点検します。」と記載しておりますので、当然に平成30年度から評価点検を行います。</p>

○潮来市地域福祉計画・地域福祉活動計画（第2期）《素案》に対するご意見と潮来市社会福祉協議会の考え方

No	項目	意見の内容（要旨）	潮来市社会福祉協議会の考え方
1	一人暮らしの方へのケアチーム員について	一人暮らしの方との話の中で、各地区でケアチーム員の方を依頼していると思いますが、一人暮らしの方本人の意見も入れてケアチーム員の依頼をする事も大切と思う。本人と気の合わない人がチーム員となっている事もあると思う。	ご意見のような状況の場合も考えられると思います。 一人暮らしの方へのケアチーム員については、民生委員児童委員を中心に地域の方々のご協力のもと成り立っているものですので、適宜対応して参ります。
2	高齢者クラブ員を巻き込んだサロン作り	高齢者クラブ内の活動で月1回のおしゃべり会の開催を実施し、40名の方の参加でビンゴゲーム、ミニゲーム、おりがみ作り又昼食会の実施で会員の交流を深めています。	今後も引き続き、サロンでの活動を継続して、社会参加や健康づくりなどの交流をお願いします。
3	ボランティアセンターについて（場所）	ボランティア行事の参加等に出たいが、交通の便が悪く参加できない事もあります、センターを利用しやすいようにコミュニティバスの配車検討願いたい。	計画書の66ページに記載させて頂きましたように、ボランティアセンター（活動拠点）の充実に取り組んでまいりますとともにボランティアセンター利用者の交通手段について検討させて頂きます。
4	《基本目標3》サービスの切れ目と隙間のない地域をつくろう！【サービス提供の課題】 （3）児童福祉・子育て支援の充実	子育てに困る前に集まれる場所をつくったりするということは非常に良いと思いました。できれば、多様な年代の子どもたちや、保護者が交流できるとよいと思います。子育てに関する悩みは先が見通せないことから起きることも多々あるので、先輩ママの話を聞けたり、少し大きい子の様子がわかったりすると安心できることや予測できることがあるのではないかと思います。	ご指摘のような「困る前から集まる場所」については重要な視点であると理解しております。このようなニーズに対応するため、潮来市の特性や資源を活用し、市民と協働してサービス提供に努めてまいります。 特に、子育ての先輩ママとの交流なども重要な視点であると理解しております。今後の事業運営に活かしてまいりたいと考えます。
5	《基本目標3》サービスの切れ目と隙間のない地域をつくろう！【サービス提供の課題】 （3）児童福祉・子育て支援の充実	個別事業の①低所得世帯児童・生徒等への学習支援は、「低所得世帯」と言われると子どもたちも参加しづらいと思うので、誰でも参加できるようにしたほうが良いと思います。また高校生などの学生ボランティアさんが来てくれたら、子どもたちも学習しやすいのではないのでしょうか。	計画書での文言の修正は行いませんが、事業実施においては、ご指摘の点について、配慮し高校生等の学生ボランティアの協力を付含め検討しながら事業を行ってまいります。